

令和6年度「特色ある学校づくり対策事業」実践報告

海光る町学園 佐世保市立小佐々中学校

所在地 佐世保市小佐々町西川内132番地

校長 佐々木 則弘

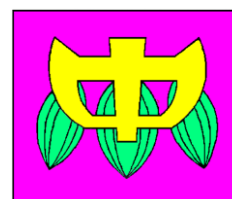
生徒数 166名（1年生59名、2年生44名、3年生63名）

〈校訓〉【学校教育目標】

英知 - 自ら進んで学ぶ小佐々中の生徒

信愛 - 心豊かな小佐々中の生徒

活力 - 健康でたくましい小佐々中の生徒



〈令和6年度のスローガン〉

バージョンアップ！小佐々中

1. テーマ

今年度校内研究テーマ

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業改善

～ICTなど教育機器の活用を通して～

2. 目的

本校では、「授業デザイン SASEBO」や「長崎県授業改善メソッド」等を基に、学びの場を工夫した授業づくりを展開しています。そのために、指導形態を工夫したり、ICT機器を積極的に活用したりしながら、お互いに授業を開きあって授業改善を積極的に進めています。さらに、生徒の学習習慣の確立を目指し、学力の向上を実現するよう全職員一丸となって日々の教育活動に邁進しております。

また、小佐々っ子プラン「地域の教育力・財産を生かして小佐々で子どもを育てる」ことで、地域と協働・連携し、地域に開かれた・地域に理解された特色のある学校づくりを推進してまいります。

3. 実践内容

学力向上プラン 「わかる・できる」楽しさを味わわせる

☆校内研修と連動した取組☆

○授業改善による教師の指導力向上 ○生徒の学習習慣の確立・学力向上

(1) 小佐々中学びのスタンダード (学習規律・授業の構え) の徹底



(2) 提案授業による検証

① 研究公開授業 (32回) 現職教育・研修 (9回)

② 地域人材を活用した授業

○ふるさと歴史発見学習 (第1学年)

9月26日(木)、地域の郷土史家の方から、小佐々地区の歴史について学びました。ふるさと「小佐々」についての話の後、実際に史跡等の見学を行いました。生徒たちは、興味深々で地域の方の話に耳を傾け、改めて小佐々の良さを実感していました。学んだことは、スライドにまとめ、文化祭で発表しました。



○職業講話・職場見学 (第2学年)

9月18日(水)～9月20日(金)に職場体験学習を行いました。事業所の方々から仕事の内容等を教わり、実際に仕事を体験することで、働くことの大変さや職業の意義、礼儀やマナーについて体得し、自分の将来についての考えを深める貴重な機会となりました。



○地域伝統文化学習

第3学年が、『小佐々の達人に学ぶ』をテーマに、郷土の伝統・文化について「箏」「書道」「案山子づくり」「わらじづくり」「太鼓」の5コースに分かれて、講師の方からその技能を教わりました。その成果を文化祭で披露しただけではなく、地域のイベント「コミュフェスこさざ」、本校で行われた「日本最端中学校4校交流」でも披露して好評を得ました。



○日本本土最端中学校交流会

日本本土最端に位置する「北海道稚内市立宗谷中学校」「鹿児島県南大隅町立第一佐多中学校」「北海道根室市立歯舞学園」「長崎県佐世保市立小佐々中学校」の4校をオンラインで結び、それぞれの学校・地域の特徴等を発表し、意見交換を行いました。そのことをとおし、生徒の視野を広げるとともに、学校や地域への愛着や誇りを醸成し、「ふるさと」の未来に積極的に関わろうとする意欲を高めることを目的としています。各校とも、生徒会等、学校のリーダーが中心となって会を運営しました。本校は全校生徒や地域の方々、保護者も交流に参加しました。生徒たちは、積極的に他校に質問し、有意義な会となりました。この交流会は、今後も継続・発展させていく予定です。



(3) 学習習慣の確立

① 小中9年間で意識した取組

コミュニティ・スクールとして、2小・1中の教師で統一した指導ができるように目安を定めています。今年度新たに改訂を行った『海光る町学園 9年間の学びと育ちのスタンダード』には、「学習準備」「家庭学習」「読書」「あいさつ」「返事」「生活の規律・判断」の各項目を、発達段階に応じて示しています。年度初めに各学級で生徒に配付説明し、各家庭にお届けしています。学びとともに一人一人の育ちも目指しています。

海光る町学園 9年間の学びと育ちのスタンダード



② 「授業の心得」「学習のきまり」

授業に真剣に臨むために、始業・終業の礼法を大切にしています。生徒会の学習部が主となり毎時間力を入れて取り組んでいます。また、始業前には、前時の復習と黙想を行うことで落ち着いて授業を受けることができます。4月には「授業の心得」と「学習のきまり」を確認し、1年間の授業への意識付けを行っています。

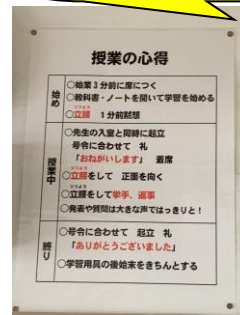
「授業の心得」「学習のきまり」

- ・ 始業、終業時のあいさつ・礼法
- ・ 学習の構えづくり

③ 生活ノートの活用

一日の振り返りや家庭学習の記録を毎日行うことで、生徒自身が生活・学習習慣を見直すことができます。担任とのやりとりをとおして課題の早期発見につなげていきます。

- 1・2年生 … 「フォーサイト」
- 3年生 … 「忘れないゾウ」



小佐々っ子プラン

☆地域人材を活用した取組

- 地域の教材力を活用
- 地域の人材力を活用
- 地域のネットワークを活用

地域の教育力・財産を生かして

小佐々で子どもを育てる

(1) 小佐々町の教材力を生かした取組

○ 海洋体験

小佐々地区の宝である自然のすばらしさを再認識することで、郷土への誇りと、健康でたくましい小佐々中の生徒の育成を目指しています。今年度は、3年生が7月17日(水)小佐々海洋スポーツ基地でカヌー実習を行いました。



(2) 小佐々地区のネットワークを生かした取組

① 地域未来塾

未来を担う子供たちの豊かな学びや成長を支えるために、学校・家庭・地域がパートナーとして連携しながら放課後学習を支援する取組として実施しています。

佐世保市教育委員会の主催事業で、実施にあたっては佐世保市教育会に調整・運営等を行っていただいています。数学の復習を中心に5名の講師の先生に指導していただいています。「苦手だった数学が、わかるようになってきた。」と生徒たちも週に1回の学習を楽しみにしています。



② 学園交流・かがやきっ子会議

11月26日(火)、中学校の生徒会役員と両小学校代表が小佐々コミュニティセンターに集まり、開催されました。小佐々地区の児童・生徒のさらなる学校生活の向上に向けて様々な意見交換ができました。

11月26日(火)に学園交流を開催しました。次年度入学予定の小学6年生と中学校2年生が、授業交流等をおして新入学生に対する不安解消や中学校の理解を促す取組を行い、中1ギャップ解消を目指しています。

また、各学校のリーダーを育て未来の小佐々を支える人材としての育成も目的としています。



③ 学園連絡会

小中の教師が、乗り入れ授業の計画や学習面の取組、生活面の指導などについて確認し、コミュニティ・スクール3校での共通実践を行うための会議の場を設けています。学習面と生活面に関する小中9年間の連続した成長を支援しています。本年度は、中学校数学教諭が両小学校で乗り入れ授業を行ったり、3校それぞれの研究授業を参観して、よりよい授業の創造に向け意見交換を行ったりしました。



コミュニティ・スクールとしての取組

地域とともに子どもを育てる

つながりの中で行う教育活動

- (1) 目指す子ども像に向けた取組
 - 『おさかなあいさつ』～ 子ども版・大人版 ～
- (2) 地域の方たちと連携した各種行事
 - コミュフェスこさざ、ふれあいコンサート 他
- (3) 地域人材・教材を活用した取組
 - 教科・総合的な学習・各行事 等々
- (4) 地域行事への生徒・教職員の参加



4 成 果

今年度は、これまでの取組のさらなる「バージョンアップ」を目指し、伝統文化学習、郷土学習、職場体験、文化祭、学園交流等に取り組みました。昨年度から実施している「日本本土最端中学校交流」では、学校の紹介だけでなく、地域の良さや課題を共有することで、郷土を愛する心情を高めました。伝統文化学習では、「西端太鼓」や「かかしづくり」等、昔から小佐々地区に伝わる文化を、地域の方々に丁寧に教えていただきました。生徒たちは、今まで知らなかった地域の歴史や人々との出会いや、一緒に学んできた小学生との新たな交流により、地域の良さを改めて学ぶ機会を得ました。そのことにより、地域の人たちがより身近かな存在となるだけでなく、プレゼンテーション能力の向上や企画力の向上など、持続可能な社会を目指す社会人の一員としての礎を築いています。その成果として、1月に実施した学園評価（中学校集計）では、「海光る町学園は、地域の人たちと交流しながら学習や行事等の活動を行って、地域とのつながりを深めている。」の項目で、地域 3.8、保護者 3.5、教師 3.8、生徒 3.4と、いずれも高い評価を得ています。これまでの活動の継続と、新たな取組を導入していくことの両輪により、本校の教育活動が「ふるさとを愛する子ども」の育成に繋がるよう願っています。

5 今後の課題

現在、本校のみならず学校教育全体が大きく改変しようとしています。

本校の生徒は、学習面における主体性・積極性・継続性で課題を抱えており、期待する学力まであと一歩といったところです。そこで、本校では引き続き学力向上に向けて、一層力を注いでいきます。その一つの手段として、ICTの活用や探究的学習を積極的に取り入れた授業改善に、職員一丸となって取り組んでまいります。

学力向上のためには、授業だけでなく、日々の学習習慣や生活習慣の確立が不可欠であり、生徒へのはたらきかけとともに実践が必要です。また、学びの裾野を広げていくために保護者の皆様にも学校の取組を積極的に公開・情報発信し、時にはともに協議をしながら、よりよい学習習慣や生活習慣といった教育の充実に向けて、ご理解ご協力をいただきたいと思います。

また、地域の人材を生かした教育活動の一層の充実を図り、生徒が地域にはたらきかける場面を設定するなど、生徒の良さを更に引き出し、コミュニティ・スクールとして、地域と共に育つ学校として、今後も教育活動を推進していきます。